



いっしょにページをめくろう！
名古屋市図書館100周年

名古屋市図書館 100 周年記念事業

天白図書館バリアフリー映画上映会

『グーグーだって猫である』(116分)

大島弓子の同名の自伝的エッセー漫画を映画化した、ほのぼのとした人間ドラマ。
愛猫を亡くした天才漫画家と、彼女を取り巻く人々の何気ない日常を軽快な音楽にのせて描く。

日時 2023年12月9日(土) 午後2時上映開始(開場1時30分)

場所 天白図書館 おはなしの部屋

費用 無料(どなたでもご参加いただけます)

お申込み 2023年11月7日(火)9時30分受付開始(定員 30 名)

※ 天白図書館カウンター、お電話、FAX にて受付(定員になり次第締切)

協力 住友商事株式会社(NPO 法人シネマ・アクセス・パートナーズ)



●音声ガイド

目が見えない人、見えにくい人に対して、人物の動きなどをセリフや効果音の合間に音声で説明します。

●バリアフリー字幕

耳が聞こえない人、聞こえにくい人も楽しめるよう、音が伝えている情報を文字にして表示します。

※ 左の画像は上映イメージです。

【お申し込み・お問い合わせ】 名古屋市天白図書館(名古屋市天白区横町701)

電話 052-803-4188 FAX 052-803-4190

指定管理者 ナカバヤシ株式会社名古屋支店

天白図書館バリアフリー映画会「グーグーだって猫である」申込書

お名前(ふりがな)	()
ご連絡先(お電話)	— —
障がいの有無	視覚 聴覚 その他() なし
介助者の有無	あり()名 なし



「バリアフリー映画上映サポートとは？」

バリアフリー映画推進のため、住友商事株式会社と NPO 法人シネマ・アクセス・パートナーズ(CAP)が企画し、各配給会社の協力を得て実現しています。

住友商事が費用面をサポート、CAP が事務局を担当しています。

住友商事の社会貢献活動

住友商事は、社会貢献活動として 2004 年からバリアフリー映画の普及に取り組んでいます。視聴覚に障がいのある方にも話題の映画を話題の時に、家族や友人と一緒に鑑賞していただけるよう、住友商事が製作や配給に関わった映画に、音声ガイドと日本語字幕を提供してきました。また、バリアフリー映画が障がい者だけでなく、高齢者をはじめ、誰にとっても便利な映画であることを知っていただくための普及活動に力を入れています。

みなさんの地域でもバリアフリー上映会を開催してみたいという団体やボランティアグループには、住友商事がご協力します。

映像のバリアフリー化を目指す CAP

2006 年設立。映画音声ガイドの制作、普及啓発をはじめ、視覚障がい者の映画鑑賞に関する調査・研究、ディスクリイバー（音声ガイド制作者）の養成等を行っています。

CAP の音声ガイドは、視覚障がい者と映画製作者双方との連携により制作されます。映像のバリアフリー化は今後ますます求められる分野です。活動の継続には、多くの経費がかかります。皆様のご支援・ご協力により運営を支えています。CAP 会員募集中！

ホームページ <http://www.npo-cap.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/npocap/>

Twitter <https://twitter.com/CAP20060329>

